

貴重な「りんご」を求めて 「りんご」栽培のはじまり

山元町の基幹産業は農業であり、温暖な気候と恵まれた地の利を活かし、いちごやりんご、水稻など、四季折々の農作物が栽培されています。

「りんご」の栽培は、昭和30年頃から町西部の丘陵地帯、通称「アップルライン」を中心に、養蚕業からの転換を図る中で取り組まれました。

今では県内有数の生産地となり、収穫時季には、この「アップルライン」沿いで、たわわに実るりんごを目にすることができます。



貴重な「りんご」を求めて 高品質な山元の「りんご」

山元町の「りんご」は、他の産地と比較し気候が温暖で、樹上で生育できる期間が長く、熟度を高めて収穫するため、糖度が高く、甘くて美味しい“蜜入り”りんごとなるのが大きな特徴です。

果汁たっぷりの「^{あきばえ}秋映」や、糖度が高く貯蔵性がある「シナノスイート」、甘味が強く食味が良い「^{ようこう}陽光」、そして何といてもりんごの王様である「ふじ」など、多彩な品種が栽培されています。

どの品種も格別の味と品質の良さから、県内外で多くのファン（顧客）を獲得しています。



貴重な「りんご」を求めて 「やまもと夢いちごの郷」へ

好評をいただいている山元町の「りんご」ですが、
ほとんど市場に出回らないことでも知られています。

生産農家は、個々の規模が小さく、町全体での生産量
も限られている中、贈答用や軒先販売など、各生産者の
直接販売で消費される、知る人ぞ知る**貴重な「りんご」**
なのです。



平成31年2月にオープンした、**農水産物直売所「やまもと夢いちごの郷」**では、この貴重な「りんご」を、
9月上旬から3月下旬頃まで取り扱っています。

パリッとジューシーな「りんご」を、ぜひご賞味くだ
さい。

